

2008年度 東北大学法科大学院入学試験
試験科目：公法（行政法）

次の【事案】について、下記の【設問】に、理由を付して答えよ。

【事案】

Xは、環境保護を目的とする市民運動団体Aの代表者であり、Aの設立10周年記念日に当たる2008年10月1日に記念行事を開催するため、同年4月1日、B市の市民会館ホールの利用許可申請をB市の市長Yに対して行った。

この市民会館は、地方自治法第244条第1項にいう「公の施設」に当たり、同ホールの利用許可は、行政処分たる性質を有する。

【設問】

Xの申請に対し、Yは、B市行政手続条例第6条の「申請に対する処分」に係る「標準処理期間」（3ヶ月）を過ぎたのに、何らの応答もしなかった。そこで、Xは、行政（事件）訴訟を提起したいと考えている。誰（または、いかなる機関）を被告に、いかなる訴えや仮の救済の申し立てを行うのが有効適切か。また、Xの請求・申し立てが認容される可能性はあるか。なお、Xの利用許可申請は、法定の利用許可要件を満たしているものとする。